



# 米国、ヨーロッパ、アジア、アフリカの世界の123ヶ国で最も信頼性のある接着性補修剤として大好評の製品です。

ペロメタル標準型ジュニアキットは下記の様々な個人的なDIY用の修理にも応用できます。パイプ・庭池・プール・風呂場・トイレの洩れ・ボートや自動車の修理・模型の接着等。

## 使用法

風呂場、洗面所、配管等が、事故で壊れるケースは日常的に発生し、多額のコストが浪費されています。このような事態に対応して最新の技術により、ペロメタル高分子冷間溶接システムという革命的な手法が考案されました。

○ペロメタル標準型ジュニアキットは下記の特性を持っています。

1. 鉄板・ステンレス・アルミニウム・真鍮・銅・鉛・ガラス・木材・石・人造石・コンクリート・天然ゴム・合成ゴム・陶器・タイル・ホーロー・プラスチック等に接合します。
2. ペロメタルにより、異種金属、たとえば合金・アルミニウム・真鍮・銅・スチールを交互に別々に接合でき、またその接合面に腐食が発生しません。
3. ペロメタルは硬化するとジュラルミンのように硬く、ペイント・研磨・穴開け・ネジ切・切断といった機械加工が可能です。
4. ペロメタルは右の表のように驚異的な曲げ率抗張力・圧縮強度等、すぐれた物理的特性を持っています。

## 概要

ペロメタル標準型ジュニアキットは二剤から成り、その一つは精選された特殊スチールその他の金属分子の含有率の高いベース剤で、もう一つはアルミニウムの超微粒子を多く含む活性剤です。この二剤を1対1の容量比で良く混ぜ合わせるだけで化学反応が起り、20℃で約3時間で硬化します。

## 特長

- 通常の溶接・はんだ付と比較した場合の利点は、

  1. 火気や熱源が不要、従って、火事や爆発の危険がありません。
  2. 油類・アルカリ・酸・溶剤・各種燃料・ガス・水及び低温(-170℃)に強い抵抗力があります。
  3. 使用法が簡単で特別な技術能力、熟練を必要としません。

## ペロメタル標準型の物理的特性表

圧縮強度	1.280kg/cm <sup>2</sup>
ブリネル硬度HB10	85
引張強度	440kg/cm <sup>2</sup>
曲げ強度	1.055kg/cm <sup>2</sup>
引張せん断強度	253kg/cm <sup>2</sup>
単体耐熱性	約300℃
導電率	6.2x10 <sup>-5</sup> xl/0hm×cm <sup>2</sup>
比重	2.7
溶着完了時間	20℃で3時間
ベースと活性剤の混合比率	1：1(容積)
引火点	460℃
塗布量と塗布可能面積	1kgを6mmの厚さに塗ると約617cm <sup>2</sup>

## ○その他の毒性

1. 毒性がありません。
2. 皮膚アレルギーを生じません。
3. 引火性がなく安全です。

## ○ペロメタル標準型を冬期にご使用時の注意

1. 標準型のベース剤容器、及び活性剤容器を、50℃程度のぬるま湯につけて、温めると使用が容易になります。
2. ペロメタル標準型ジュニアキットを温めてから混合すると可使時間よりも著しく短くなりますので一度に大量の混合はさけてください。

アメリカのNASAを始め、世界のありとあらゆる所で信頼されて既に20数年間、他の追従を許さない孤高の王者ペロメタル。

石油化学、石油精製、自動車、船舶、電力、農業、食品、パルプ、管財、建築、運輸等に。

# 耐薬品性一覧表

● 使用をおすすめできます ○ 使用可能です × 使用できません

分類	薬品名	標準型	急速型	スーパーラピッド	セラマー	エキメタル	
鉱物油	重油	●	●	●	●	●	
	原油	●	●	●	●	●	
	作動油	●	●	●	●	●	
	再製油	●	●	●	●	●	
	切削油	●	●	●	●	●	
	酸性油	●	●	●	●	●	
	油圧油	●	●	●	●	●	
	潤滑油	●	●	●	●	●	
	ディーゼル	●	●	●	●	●	
ガス	LPG	●	●	●	●	●	
	コークスガス	●	●	●	●	●	
	一酸化炭素	●	●	●	●	○	
	炭酸	●	●	●	●	●	
	水素ガス	●	●	●	●	●	
	塩素ガス	●	●	●	●	●	
	液体塩素	●	●	●	●	●	
	天然ガス	●	●	●	●	●	
	オゾン(ウェット)	●	●	●	●	●	
	オゾン(ドライ)	●	●	●	●	●	
	窒素	●	●	●	●	●	
	亜硫酸窒素	●	●	●	●	●	
	発生炉ガス	●	●	●	●	●	
	亜硫酸ガス(ドライ)	●	●	●	●	●	
	三酸化硫黄ガス	●	●	●	●	●	
	炭化水素	アセチレン	●	●	●	●	●
		ブタン	●	●	●	●	●
ブチレン		●	●	●	●	●	
アルコール		●	●	●	●	●	
エタン		●	●	●	●	●	
ベンゼン		●	●	●	●	●	
ナフサ		●	●	●	●	●	
ナフタリン		●	●	●	●	●	
トルエン		●	●	●	●	●	
キシレン		●	●	●	●	●	
プロパン		●	●	●	●	●	
重油		●	●	●	●	●	
軽油		●	●	●	●	●	
灯油		●	●	●	●	●	
メタン		●	●	●	●	●	
オクタン		●	●	●	●	●	
ヘキサン		●	●	●	●	●	
ガソリン	●	●	●	●	●		
ジクロヘキサン	●	●	●	●	●		

分類	薬品名	標準型	急速型	スーパーラピッド	セラマー	エキメタル
アルカリ	アンモニア	○	●	●	○	●
	アンモニア水(10%まで)	○	●	●	○	●
	アンモニア水(10~20%)	○	●	●	○	○
	アンモニア水(20%以上)	○	●	●	○	○
	水酸化バリウム	●	●	●	●	●
	水酸化マグネシウム	●	●	●	●	●
	水酸化ナトリウム(10%まで)	○	●	●	○	○
	水酸化ナトリウム(10~20%)	○	●	●	○	○
	水酸化ナトリウム(20%以上)	○	●	●	○	○
	カリウム(10%まで)	●	●	●	●	●
	カリウム(10~20%)	○	●	●	○	○
アルカリ エステル 及び エーテル	カリウム(20%以上)	○	○	○	○	×
	アミルアセトン	○	●	●	○	○
	エーテルアセトン	○	●	●	○	○
	ブチルアセトン	○	●	●	○	○
	イソプロピルエーテル	○	●	●	○	○
	ジエテルエーテル	●	●	●	●	○
	酢酸メチル	●	●	●	●	○
	フタル酸ジブテル	●	●	●	●	●
	フタル酸ジオクテル	●	●	●	●	●
	セバシン酸オクテル	●	●	●	●	●
有機酸	酢酸(10%まで)	○	●	●	○	●
	酢酸(10~20%)	○	●	●	○	●
	酢酸(20%以上)	○	●	●	○	●
	安息香酸	○	●	●	○	●
	ホルマリン酸(10%まで)	○	○	○	○	—
	ホルマリン酸(10%以上)	○	○	○	○	—
	フェノール酸(100%)	×	○	○	×	×
	サリチル酸	●	●	●	●	●
	ステアリン酸	●	●	●	●	●
	リノール酸	●	●	●	●	●
	乳酸(10%まで)	○	●	●	○	○
	植 物 酸	○	○	○	○	○
	フタル酸	●	●	●	●	●
	無水フタル酸	●	●	●	●	●
レソルシノール	—	○	○	—	—	
タンニン酸	●	●	●	●	●	
アミン	アニリン	●	●	●	●	●
	メチルアミン	●	●	●	●	●
	ジェチルアミン	●	●	●	●	●
ケトン	アセトン	○	●	●	○	○
	メチルエチルケトン	○	●	●	○	○
	メチルアセトン	○	●	●	○	○
	ジアセトンアルコール	○	●	●	○	○

分類	薬品名	標準型	急速型	スーパーラピッド	セラマー	エキメタル
アルコール	アミルアルコール	●	●	●	●	○
	エチレングリコール	●	●	●	●	●
	プロピレングリコール	●	●	●	●	○
	グリコール	●	●	●	●	●
	グリセリン	●	●	●	●	○
	プロピルアルコール	●	●	●	●	●
	イソブレンアルコール	●	●	●	●	●
	第三級ヘキサノール	●	●	●	●	○
	メチルエチル	●	●	●	●	●
アルデヒドケトン	アセトン	×	○	○	×	×
	ケトン	×	○	○	×	×
	メチルエチルケトン	×	○	○	×	×
	メチルアセトン	×	○	○	×	×
塩素化炭化水素	四塩化炭素(ドライ)	○	○	○	○	○
	四塩化炭素(ウェット)	○	○	○	○	○
	フルオレン	○	●	●	○	○
	メチレンクロライド	○	○	○	○	○
	クロロホルム(ドライ)	○	●	●	○	×
	ドライクリーニング液	○	●	●	○	○
	塩化テトラ	○	●	●	○	○
	トリクロロエチレン	○	●	●	○	○
	塩化エチレン及び塩化メチル	×	○	○	×	×
無機酸	砒酸	●	●	●	●	●
	炭酸	●	●	●	●	●
	亜硝酸(10%まで)	●	●	●	●	●
	亜硝酸(10~20%)	●	●	●	●	○
	亜硝酸(20%以上)	○	●	●	○	○
	亜塩素酸	○	○	○	○	○
	亜硫酸(ドライ)	○	●	●	○	○
	亜硫酸(ウェット)	○	●	●	○	○
	塩酸(10%まで)	○	●	●	○	○
	塩酸(10~20%)	○	●	●	○	○
	塩酸(20%以上)	○	●	●	○	○
	フッ化水素酸	○	○	○	○	×
	リン酸(5%まで)	○	○	○	○	○
	リン酸(10%まで)	○	○	○	○	○
	硫酸(10%まで)	○	●	●	○	○
	硫酸(20%まで)	○	●	●	○	○
硫酸(20%以上)	×	○	○	×	×	
食品	ビール	●	●	●	●	●
	ウイスキー	●	●	●	●	●
	ワイン	●	●	●	●	○
	トマトジュース	●	●	●	●	●
	リンゴジュース	●	●	●	●	●

分類	薬品名	標準型	急速型	スーパーラピッド	セラマー	エキメタル
食品	ミルク	●	●	●	●	●
	フルーツジュース	●	●	●	●	○
	糖みつ	●	●	●	●	●
	バターミルク	●	●	●	●	●
動植物油	バター	●	●	●	●	●
	コーンオイル	●	●	●	●	●
	ココナツオイル	●	●	●	●	●
	ひまし油	●	●	●	●	●
	魚油	●	●	●	●	●
	オリーブ油	●	●	●	●	●
	サラダ油	●	●	●	●	●
	大豆油	●	●	●	●	●
	しょう油	●	●	●	●	●
塩類	塩化アルミニウム	●	●	●	●	●
	硫酸アルミニウム	●	●	●	●	●
	炭化アンモニウム	●	●	●	●	●
	塩化アンモニウム	●	●	●	●	●
	リン化アンモニウム	●	●	●	●	●
	硝酸アンモニウム	●	●	●	●	●
	硫酸アンモニウム	●	●	●	●	●
	硝酸銅	●	●	●	●	●
	硫酸銅	●	●	●	●	●
	硫化銅	●	●	●	●	●
	炭酸塩カルシウム	●	●	●	●	●
	塩化カルシウム	●	●	●	●	●
	三塩化物	●	●	●	●	●
	硫化カルシウム	●	●	●	●	●
	硫酸マグネシウム	●	●	●	●	●
	二硫化マグネシウム	●	●	●	●	●
	塩化マグネシウム	●	●	●	●	●
	硫酸マグネシウム	●	●	●	●	●
	シアン化銀	●	●	●	●	●
	塩化ニッケル	●	●	●	●	●
	硝酸ニッケル	●	●	●	●	●
	硫酸ニッケル	●	●	●	●	●
	臭化カリウム	●	●	●	●	●
	炭酸カリウム	●	●	●	●	●
	塩化カリウム	●	●	●	●	●
	シアン化カリウム	●	●	●	●	●
	ヨウ化カリウム	●	●	●	●	●
硝酸カリウム	●	●	●	●	●	
硫酸カリウム	●	●	●	●	●	
硫化カリウム	●	●	●	●	●	
硝酸銀	●	●	●	●	●	

分類	薬品名	標準型	急速型	スーパーラピッド	セラマー	エキメタル
塩類	酢酸ソーダ	●	●	●	●	●
	アルミソーダ	●	●	●	●	●
	重炭酸塩ソーダ	●	●	●	●	●
	臭化ソーダ	●	●	●	●	●
	塩素酸塩ソーダ	●	●	●	●	●
	ふっかソーダ	●	●	●	●	●
	硝酸ソーダ	●	●	●	●	●
	りん酸	●	●	●	●	●
	りん酸ソーダ	●	●	●	●	●
	けい酸ソーダ	●	●	●	●	●
	塩化亜鉛	●	●	●	●	●
	硫酸亜鉛	●	●	●	●	●
	硫化ソーダ	●	●	●	●	●
	硫酸ソーダ	●	●	●	●	●
	クロム酸塩ソーダ	●	●	●	●	●
	炭酸ソーダ	●	●	●	●	●
	硫化カリウム	●	●	●	●	●
	りん酸カリウム	●	●	●	●	●
	硫酸第一鉄	●	●	●	●	●
	塩化第一鉄	●	●	●	●	●
	硫酸第一鉄	●	●	●	●	●
	過塩化鉄	●	●	●	●	●
	硝酸酸化鉄	●	●	●	●	●
	炭酸バリウム	●	●	●	●	●
塩化バリウム	●	●	●	●	●	
硫化バリウム	●	●	●	●	●	
その他	水銀	●	●	●	●	●
	アクリル	●	●	●	●	○
	ブレーキオイル	●	●	●	●	○
	アスファルト乳濁液	●	●	●	●	●
	液状アスファルト	●	●	●	●	●
	エチレン酸	●	●	●	●	●
	下水	●	●	●	●	●
	シリコンオイル	●	●	●	●	●
	硫黄	●	●	●	●	●
	燐酸塩	●	●	●	●	○
	蒸留水	●	●	●	●	●
	タール	●	●	●	●	●
	海水	●	●	●	●	●
	鉱水	●	●	●	●	●

●本表は、スイスのダーメタル社グループがその有する知識と多年にわたる産業界での使用実例、及び実験室での結果に基づいています。但し、ペロメタルの応用はほとんど無限で、メーカーの管理の限界を超えるものであり、その全ての特殊ケースにいたるまで保証できません。従いまして、メーカーと販売者は欠陥品と判明したもののみを取り替える義務はありますが、製品の使用や使用不能によって生ずる直接あるいは間接の負担、損失、破損に対しては責任をとれません。各製品の物理的特性と、耐薬品性のガイドラインは公表いたしますが、ご使用の際その意図される使用に対し、ペロメタルが適用できるかを十分ご検討の上決定され、実際の使用によって生じる全ての危険、損害は使用者の側がこれを負うことといたします。従って実際と同一条件下でテストの上ご使用下さい。ご使用前に十分使用条件を分析され、また応用についてはペロメタルジャパン株式会社、又は各代理店、販売店にご相談下さい。リストに掲載された以外の耐薬品性テストはこれまで行っておりませんので、メーカー側で逐次リストに掲載するまで、責任ある回答はいたしかねます。